

当社事業への研究・国際機関・NGO・企業等から照会が激増しています。
公益事業職員は僅か12名です。照会に対して丁寧な対応が出来ず、ご迷惑をお掛けしています。
以下文章から現況・将来をご推察ください。

一人の情熱が周りを動かし社会を動かし、ついには世界をも変える

Aug・2016 小田兼利

壮大な夢過ぎて公言を避けていました。ところが【世界中の人々が安心して生水が飲めるように】も、大き過ぎる目標でしたが、今では世界中で普及が加速しています。

しかし、POLY-GLUの給水はまだ300万人弱で「世界中」には遠く及びません。

それでも、今日の普及の速さから見れば、世界の飲料水問題はPOLY-GLUが必ず解決出来ると断言できるのです。

POLY-GLUの周りでは【想定外の嬉しい社会現象】が起きています。

POLY-GLUの成果をご考察下さい。

1. POLY-GLUレディ、ボーイの誕生で雇用が創出できた。(約1,000人)
2. 安全な水を周辺の村に売りに行く「水商人」の誕生。(約2,000人、毎日増加中)
3. 浄水場周辺に「道の駅・商店街」が出現している。(1サイト50軒以上、毎日増加中)
4. 浄水装置の製作・設置・メンテナンスは現地に一任、技術力の向上。
5. POLY-GLUレディは実績で収入を上げる。向上心が芽生え意欲的になる。
6. 家族内に何時も病人がいたが無くなり家庭、地域が明るくなった。
7. POLY-GLUは浄化剤輸出のみで**装置製作や給水での収益は現地の利益にしている。**
8. 始めは、バングラデシュのPOLY-GLUボーイに、日本の職員が技術指導をした。
9. 次にバングラデシュのPOLY-GLUボーイが、インド、タンザニアに指導に行った。
10. 今度はタンザニアからエチオピアに指導に行った。続いて、タンザニアからはケニア、モザンビーク、ザンビアに指導に行く。エチオピアからもナイゼリア、エジプトにも行く。途上国では単純労働で「出稼ぎ」に行くことが多い、POLY-GLUは指導者として出向く。国際交流の良き典型で、POLY-GLUボーイの誇りにもなっている。

POLY-GLU事業は国連が目標としている“MDGs”のお手本ではなからうか。

国連は過去15年間MDGsを掲げて莫大な資金を消費しているが、目立つ成果は出せずにいる。

日本の小さな会社が「我々が世界を変える」と公言し、政府もPOLY-GLU事業を「我国の誇り」としている。“UNDPの0.002%の資金!と0.005%の人員”でのPOLY-GLU事業の費用対効果を比較すべきだ。

POLY-GLUの新たな目標は“大和魂で世界を変える”である。

※POLY-GLUは報道機関・国会議員・国際協力機関・大学関係者に限り現地視察を有料でお受けします。

尚、大学学部生、大学院生、博士課程研究生の現地研修(宿舍完備)も受け入れ準備中です。